

様式第3号

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和7年第3回川西市産業ビジョン推進委員会		
事務局 (担当課)	市民環境部 産業振興課		
開催日時	令和8年1月29日(木) 13時～15時		
開催場所	Web会議システム形式と対面形式の併用 (場所: 川西市役所5階 503会議室)		
出席者	委員	長坂委員長、山下副委員長、山本委員、時任委員(OL)、辻田委員、大西委員、吉岡委員、野原委員、西村委員	
	オブザーバー	藤森氏、九鬼氏	
	事務局	市民環境部 岡本部長 産業振興課 河合課長(OL)、上原課長補佐、松岡主事	
傍聴の可否予定	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 (1) 委員長あいさつ 2. 議事・報告 (1) (仮称)未来につなぐ川西市中小企業振興条例(案)について (2) ガバメントクラウドファンディングを活用した社会起業家支援事業について ●R7年度実施報告 ●R8年度実施予定 (3) 部会の設置について (4) その他 3. 閉会		
会議結果	別紙 審議経過のとおり		

審 議 経 過

事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただ今より、令和7年度第3回川西市産業ビジョン推進委員会の全体会を開催いたします。</p> <p>私は産業振興課の松岡と申します。</p> <p>今年度はWeb会議システム形式と対面形式の併用での開催とさせていただいております。Web会議システム形式でのご参加の方は、ご発言の際はミュートを解除していただきますようお願いいたします。</p> <p>対面でご参加の方は、挙手の上、ご発言をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜オンライン会議の有効性の確認＞</p> <p>では、開催に先立って、オンライン会議システムでの参加及び通信の確認を行います。</p> <p>オンライン形式で参加いただく委員は、会議開始前に「映像及び音声により委員本人であること」、「会長及び委員相互間での映像及び音声の即時の相送受信が適正に行われていること」の2点について、確認を取っております。</p> <p>次に本会は、委員長と委員 9名のご出席をいただいておりますことをご報告いたします。</p> <p>また、参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、2点お伝えいたします。</p> <p>本日の会議は、こちらの市役所会議室にプロジェクターを設置し、会議内容が傍聴できる体制とし、公開のもと行って参ります。</p> <p>なお、会議録の作成のため、当会議を録画・録音いたします。</p> <p>会議録の作成後には速やかに削除いたしますのでご了承をお願いします。</p> <p>それでは、事前にメール送信と郵送させていただいた資料のご確認をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">＜資料確認＞</p> <p style="text-align: center;">＜委員長あいさつ＞</p>
事務局	<p>それでは、はじめに長坂委員長より一言ご挨拶いただければと思います。</p> <p>長坂委員長 よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>本日は、資料をご覧くださいますように中小企業振興条例とガバメントクラウドファンディングの2つの議題と聞いております。</p> <p>今日は、皆様のご意見をいただけると幸いです。</p>

	<p>よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、議題に移らせていただきます。 委員会規則第7条第1項の規定により、委員長に議長を務めていただくこととなっており、ここからの進行は長坂委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>2、議事・報告</p> <hr/> <p>ご指名いただきましたので、進行を務めさせていただきます。 よろしく申し上げます。 会議中、委員の皆さまからのご発言の際には、挙手いただき、こちらから指名させていただいた後にご発言をお願いします。 オンラインで参加の方は、挙手いただき、マイクをオンにしてご発言をお願いします。 また、会議は15時までを予定していますので、円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
委員長	<p>議事・報告（1）（仮称）未来につなぐ川西市中小企業振興条例（案）について</p> <p>議題（1）（仮称）未来につなぐ川西市中小企業振興条例（案）について、資料1-1と資料1-2が提出されています。 では、事務局から資料に基づいて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>＜資料1-1と資料1-2について説明＞</p>
委員長	<p>わかりやすいご説明ありがとうございました。 早速ですが、資料1-1、1-2についてご質問はございませんか。</p>
委員長	<p>ここで質問しないと全て決まるということでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントを実施し、結果の報告をするのが2月3日になります。 それが終わればほぼ固まるという状況です。</p>
事務局	<p>来週に議員協議会で最終審議を受けて、市民の皆様に結果公表した後に3月議会で上程後し、制定となります。 今回の説明もありました通り、単なる理念条例にならないようにすることというところを特に掲げまして、部会の皆様から意見いただいた後にどう実効していくものかというところで、市と商工会の場をこの条例で定めることによりトップ同士が協議をすることで、産業施策をもっと充実したも形にできるような条例に出</p>

	<p>来ないかというところで今回協議の場というのを設定させていただきました。</p> <p>また、産業ビジョンの策定と実施というところを第13条と14条にも設けさせていただきますして、産業ビジョン推進委員会の中で、例えば協議の場に出てきた施策の効果検証等をしていただきますして、よりよい施策にしていき、PDCAサイクルをまわしながら、より施策を柔軟に実施できるような形にできるというところで、この条例を制定させていただこうと考えておるところでございます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんいかがでしょうか。</p> <p>私から確認をさせていただきます。</p> <p>5条の3項ですが、この文章は中小企業や商工会、事業者団体に積極的に参加したりする中小企業の振興に関する施策へ協力するよう求めるとしています。</p> <p>求めるとすると、以下、2点確認ですが、1点目は、商工会及び事業者団体に参加することが目的なのか。活動に参加することが目的なのか。</p> <p>そういうところを教えて欲しいと思います。2点目は、2行目のところの施策に協力するのが、中小企業の役割なのかその辺りの整理がどうなったのか経緯が固まっているのであれば、補足をしていただけると助かります。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、積極的に参加するというところ、商工会及び市、事業者団体に出るところもありますが、この背景には、商工会の団体加入率がやや低い傾向にあるというところが背景でございます。</p> <p>そういった背景もあり、市内の中小企業がより一枚岩に近づけるかのように連携していただくというところを意図にこの条文を設けているところがございます。</p> <p>また、市が実施する中小企業の振興に関する施策に協力するよう努めるものとするというところで、例えば、市が行う経済対策がございます。これは国の交付金をもらって実施する施策ではございますが、そういった中で市内の経済を盛り上げるには中小企業の皆様の協力があれば、さらに強力な施策が実行できるだろうというところで、この条項と条文を設けているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>中小企業が様々な事業を活用したりというところは、ある場面においては、積極的に協力をしていただくということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>補足させていただくと、第5条の第1項をご覧いただきたいのですが、中小企業は市民生活を支える雇用機会及びサービスを提供して地域経済の発展に努めると</p>

	<p>ともに、まちづくりに貢献するものとするをさせていただいています。</p> <p>この中小企業振興条例は中小企業を守るものでもあります、やはりある種中小企業の皆様に、まちづくりに貢献していただきたい。</p> <p>そういう強い思いがあるというところを求めているところでございます。</p> <p>補助を受けることやサービスを受けるだけでなく、まちづくりに積極的に参加していただく、そのような部分が裏テーマとしてあるのかなという認識でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に委員の皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>関わった側になるので、内容についてというのは控えますが、今回の議題の趣旨とはずれのかもしれませんが条例を作ってその後の見解といいますか活用の方法について、今現在考えてらっしゃることがあれば、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>まずは第12条に定める協議の場の設置を具体化することかなと思っておりません。</p> <p>ここを具体化して、令和9年度にはなりますが、この条例で協議の場の設置をした中で、市と商工会が協議した施策を予算化し、打ち出せればと考えております。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回、部会長を務めさせていただきました。</p> <p>色々なご意見ありがとうございました。</p> <p>何よりも先ほど事務局からありましたように、2つの思いがありまして、1つは連携、繋がるというところ、もう1つは未来につなぐというところ。</p> <p>この2つがあります。</p> <p>連携というところに関しては、先ほどもありましたように商工会において事業者との連携が希薄になってしまっているところをいかに改善していくか。或いは市、それから商工会、事業者、金融機関、大企業など様々な連携をいかに強化していくのかというところをメインに考えております。</p> <p>2つ目の未来につなぐというところでは、先ほど、委員長からも素敵という言葉をいただきましたが、これにかかる思いとしましては、やはり川西市としては、未来の子供たちに対しても取組を非常に大切にしているところがあります。</p>

	<p>これは事業者にも言えまして、事業者も承継という部分が遅れているので、承継していくというような思いも込めまして、この未来につなぐという言葉が出来上がっています。</p> <p>さらに、委員がお話したように、今後の具現化っていうことにつきましては、まさにこのPDCAを回すということが重要でして、このPDCAを回していくというところで、協議の場が設けられるのが、一つ大きな部分ではないかと思っております。</p> <p>川西市としましては、PDCAの中で、産業ビジョンが契機となって、またPDCAサイクルを回していく、さらに商工会においては、企業者様の皆様の課題を掘り起こしまして、吸い上げのところを川西市と一緒に協議することによって、課題解決に繋げていく。こういったPDCAを回そうとしています。</p> <p>先ほど第5条の3について、積極的に参加というところに関しては、商工会の入会率をあげていきたいという思いがありますが、より入っていただければ、皆さんの課題を解消するような繋がりがあってというのが明確化するということのを売りにしながら入会促進に繋げていきたいなというところもありますので是非ともこの協議の場というところをうまく活用しながら決めて令和8年以降、進めていきたいなと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>非常にわかりやすい説明でした。</p> <p>各中小企業の価値の向上の総和がこの川西市の魅力だと私も思いますので、商工会の会員さんになれば一番いいですし、会員さんにならなくても、私達が川西市の中小企業を応援して価値の向上していくのかということが非常に大事だと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>すごくネーミングも良いし、今の部会長のお話を聞いて、市民にも関係あるかなと思ったところですが、第9条で市民の役割も書いてあるのだろうと思って、これを見たときに市民にどう伝えていくか、市民がどのように自分の地域内のサービスを利用することかなと思うのですが、具体的にどのように今のところでお考えがあって、教えていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>市民との役割というところは条例の部会でもありましたが、市民等は経済の主体であるというご意見がございまして、市民があって中小企業は結びつくというところです。市民の皆様はこの条例の制定後に、また中小企業がますます仕事をししていく、サービスも向上していく、そういった中で、それを市民等も積極的に活用</p>

	<p>していただければ、市全体が盛り上がっていくという思いを込めてこの役割を制定させていただいているところでございます。</p> <p>特に、市民に何かこうしていこうかというところではなくて、市民はもう経済の主体だということ、位置付けた意味合いでこの条文を設けさせていただいたところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>未来につなぐというところで子どもたちというところもとてもいいと思いました。</p>
委員長	<p>感想でもいいので皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>思いであったり、理念であったり、この部分についても、まさにその通りだなと思っていて、感想としては課長がおっしゃった通り、どう実行していくかというところに関わってくるのだらうなと思いますが、感想もしくは希望で、川西市のまちづくりに関わってくると思います。</p> <p>この中小企業というこの位置づけをどう考えるかですが、飲食店いわゆるその一般の小売業も中小企業にあたりますし、ものを作っている企業も中小企業にあたる。</p> <p>この中で雇用を生むことを思うと、やはりものづくりの企業の誘致というのが、必要不可欠になってくると思う。</p> <p>そうやってきた時に川西市が持っている土地や有効活用できる不動産をどう活用していくか、まちづくりと一体になって考えていくことが川西市を活性化していくという部分では、非常に近道かなと思います。</p> <p>例えば、この場所にはスーパーを誘致する、その理由としては、周りの住民のために商業圏を持ってくるが、もう一つのところでは少し大きめの中小企業を誘致してきて、それに伴う下請けの企業を誘致してくるというような、川西市としてまちづくりということと一緒に考えていただいていた方が、実行する上では早道なのかなというのをすごく感じています。</p> <p>池田泉州銀行だけがそう捉えているだけで、他の銀行は違うかもしれないですが、印象はそんなにものづくりの企業が多いまちではないと思っています。</p> <p>ものづくりをもっと活性化していくと、もっとそれに付随して雇用も生まれてくるし、人の流れも生まれて本来のまちづくりということと一緒にできたら理想で、また、そうなればいいのかなというのが感想です。</p>
委員	<p>中小企業は、雇用主として重要な役割を果たしていると思いますので、ハローワ</p>

	<p>ークとして人材が必要な場合に、マッチングという場面でご協力させていただきたいと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。</p>
オブザーバー	<p>私も携わったので、内容についてはこうというのではないのですが、これができることによってより市と商工会のつながりが深まって、実際に予算を取ったりしていくとか、一緒に事業ができるというのは、今後の川西市にとっても良いことだなと思いますので、実際にお話しがあった通り、何をしていくかというところが大事だと思いますので、まずはそのための基礎として、これが出来上がったのかなと思っていますので、また来年から考えてできればなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>市民を支える雇用機会のサービスの提供のところですが、私は以前に採用にも携わったことありますが、川西市に引っ越してきて、本当に働くところがないと言われます。能勢電鉄くらいしかないからと応募しましたと言われたこともありました。この条例を起爆剤にして、中小、大企業、金融など色々なところが一枚岩になって雇用の創出と結びつけられたらなと思っているので、これをどうやって市民に伝えるかというのがいかに大事なのかなと本当に思いますので、広報誌など色々なものを使って、わかりやすく発信していただけたらなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
委員	<p>私も皆さんと同じで、すごくわかりやすく子どもや未来というところにもつながるいいものだなと思いました。普段、起業支援をしている中で、感じることは、やっぱり雇用を生み出す事業も大事ですが、1人など小さい規模から始まっていく事業というのもすごく活性化につながるなというところで、そういう方がこの中小企業振興条例というところのタイトルに自分ごとで関係あるかと思うところですが、関係ないところのものかなと思ってしまいそうだなという印象があるので、お話にもありましたが、広報とかそういうところでわかりやすい言葉で見せるというのも必要になってくるのかなと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p>
オブザーバー	<p>私も事業に参加させていただいていたので、内容については特にはないですが、これができることによって、これから何かを進める時に、皆さんを巻き込めるなと思っています。これがあるので、役割があるということが言えるようになるので市民の方にも特に地域内消費ということも、この条例があるからと言えるようになります。</p>

	<p>思います。</p> <p>「商工会様と一緒に話し合えよう」、「金融機関さん一緒に入ってください」ということが言えるようになるということはすごく嬉しいなと思っていて、本当にこれからどう進めるのかにもよりますが、日々まちの人と関わっている方と一緒に暮らしているのので、そこで役割を担えたらいいなととても思っています。</p> <p>別件ですが、こども若者の条例ができたことによって、子供と若者の意見を聞かなければならないということに基づいて、事業が動いていくというのを今年目の当たりにして、そういうことが動くのだろうなと思うととても楽しみにしています。良い条例を作っていただけて感謝しております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日、先ほど委員からありました企業誘致の話ですが、両輪だろうなと個人的には思っています。</p> <p>多くの自治体が企業誘致をして、数十年経ったら今度は企業が撤退していくみたいなことで、誘致した企業を引き止めることがなかなかできない局面もあったりして、同時に地域の企業がそこに土壌を作ってそこで成長するようなアメリカ発祥のエコノミックガーデニングみたいな考え方もありますが、両方を上手に使いながら、そこにきちんと根付くような策をどうやって考えるかということをお官民で考えていく必要があるのかなと思って聞いておりました。早いのは企業誘致で、雇用を持ってくるのが簡単だとは思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>企業誘致も確かに必要ですが、部会の冒頭で、市長から大きい企業を引っ張ってくるということではなくて、小さな起業がたくさんできるような街にしたいという話がありました。それを受けて、この中小企業振興条例というのがあるのでということにはなります。カンフル剤として大企業が入ってくるということは、好ましいことではあるけれども、川西市にそれほどの土地がないということも含めて、川西市としてどう選択していくのかということはあるかと思っています。一方で、新名神高速道路周辺であるとか、舎羅林山の開発でまだ大きな企業が進出できる余地はあるという認識ではございますので、そこについては、その土地の利用を緩和するという手法で入ってきていただくみたいなことを考えていくところでございますので、なかなか前向きな話はできない部分もありますが、中小企業振興条例としてはそういう立ち位置ですということで、申し上げさせていただきましたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私もこの条例を作る側で関わらせていただきまして、貴重な経験させていただきました。</p> <p>できるだけ市民とか事業者の皆さんにとって、遠くなりすぎないとか、自分ごと</p>

	<p>にできるようにという方向で、タイトルもいろんな表現が硬くなり過ぎないようにということで詰めてきたかなと思っておりまして、そういう意味では、この狙いに叶う形になったのではないかと考えております。</p> <p>一方で何人かの方も指摘されていたかと思いますが、いかにこれを自分ごとにするということについて届けることができるかというところが、次は大切になってくると思います。</p> <p>市民が条例みたいなものを意識するというのはなかなか難しいと思いますが、全ての事業者の皆さんには、自分事として、少しでもとらえていただくにはどうしたらいいだろうなというようなことを考えながら聞いておりました。</p> <p>自分自身もこういう場に関わらせていただくようになって初めてまち全体を見るというような視点を少し持つようになったり、色々な統計データを見て、自分もこの中に含まれているのだなということがあって、何か少しずつ俯瞰的な見え方でそこにどう関わっているのかというのを考えるようになっていった感覚があるので、どのように提供していけばいいのか、発信していけばいいのかというのはいろいろ考えていく余地があるのかなと思った次第です。</p> <p>また、条例自体を届けるというよりはこれに紐づく施策を作って、それを適切に皆さんに届けていくということで、その施策から知ってもらうということが、実際的には重要なのかなと思います。</p> <p>自分も新規出店の店舗の助成金等にも関わらせていただいたりしていますが、そういった施策の1つ1つがきちんと届くようにということも同時にやっていけるといいのかなと思った次第でございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今お話がありましたとおり、わかりやすい政策を作ってそれを適切にターゲットに届けるということをしっかりやらない限りは、条例が絵に描いた餅になってしまう可能性が常にあり、今回の川西市だけではなくてどこの自治体でもそういう危険性ははらんでいるので、ここが入口でここからどう展開していくかが大事だと思います。</p> <p>そうしましたら、事務局側に閉めていただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>色々なご意見ありがとうございました。</p> <p>条例名については、議会にかけさせていただいて、未来につなぐというところが冒頭にきています。</p> <p>まず、市の中で協議するとき、これは川西市未来につなぐ中小企業振興条例であるべきではないかと強く言われまして、部会のものであるので、未来につなぐ川西市中小企業振興条例にさせていただきますということで、市長の了解を経てまし</p>

	<p>たので、この条例名で進めさせていただいたところでは、</p> <p>議会で議論させていただくと、特にこのタイトルについて、大きく議論になるということではなく、順調に進んでいるというところでございます。</p> <p>ただ、これから3月の本会議にこの条例を提出させていただいて、総務生活常任協議会、常任委員会というところでご議論いただくこととなりますが、そこで何か意見が出てくればいいなと思っています。</p> <p>やはり未来につなげていくということが、川西市の今だけではなく将来のことを考えていくということが重要だと思っているので、そういう前向きな議論がこれからも出来たらなと思っています。</p> <p>あと議会でもう1つ説明させていただいてるのは、これはあくまでも政策を形成するための枠組みということです。</p> <p>この中にある協議の場というのが、年に1回必ず商工会と川西市がやらなければいけないということになっています。</p> <p>それが形骸化してしまうようなことであってはいけないと思っていますので、その仕組みを具体的にどう作っていくのか、お互いがどう発想していけるのか、より高め合っていけるのかということがすごく重要だと思っていますので、そういう部分で動いていなければ、ビジョン委員会で動いていないじゃないかということで、ご叱責いただけるとありがたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>よろしければ質疑応答はこれ以上にさせていただきまして、次の議題に移らせていただきます。</p>
委員長	<p>議事・報告（2）ガバメントクラウドファンディングを活用した社会起業家支援事業について</p> <p>2つ目の議事報告のガバメントクラウドファンディングを活用した社会起業家支援事業につきまして、資料2-1、2-2が提出されております。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>＜資料2-1と資料2-2について説明＞</p>
委員長	<p>説明ありがとうございました。</p> <p>今年は去年と違うのはスケジュールを少し前倒しされて、年内にクラウドファンディングができるようなスケジュールだったと思いますが、前倒した影響はどうだったのでしょうか。</p>
事務局	<p>特に前倒ししてスケジュールがというところはございませんでした。</p>

	<p>ただ、今回のふるさと納税の仕組み自体で、9月末にポイントが廃止されたというところがあって、駆け込み需要を狙って、年末にはガバメントクラウドファンディングを始めたかったのが、9月に一度駆け込みが発生しました。</p> <p>12月開始というところで駆け込み需要の第2波は、税金が安くなる部分での駆け込み需要というところでしたが、国の制度変更があったので仕方ないところですが、影響はあったかなというところがございます。</p> <p>ただ、前年度は3月始めというところでありましたので、それに比べれば12月開始というところで、まだ実施中ではございますが、何らかの良い影響になればというところで考えているところがございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>当日は市役所の方も何人かいらっしゃったので、その職員さんの給与を除くとどうかわかりませんが、何人かクラファンをしていた方がいらっしゃったんじゃないかなと思って見ていました。</p> <p>皆さんいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>聞き漏らしたかもしれないですが、来年度のガバメントクラウドファンディングの始まりが1月中旬なっていますが、先ほどの駆け込みの話もいろいろありましたが、今年は12月で始めて、来年1月中旬から3月の終了というの期間は短いような気もしますが、そこはどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>このスケジュールですが、担当の順当なスケジュールで1月中旬にならざるをえないというところではあります。昨年度も同じスケジュールでご提示させていただきましたが、今年度も何とか間に合って12月の駆け込みに間に合わせる事ができたというところがございます。</p> <p>令和8年度のほうもそのスケジュールで実施できればというところで考えております。</p> <p>一旦は順当に実施すると、このスケジュールになるというところで今示しておりますが、令和8年度の12月末までには、実施できるように担当も一生懸命頑張っていこうと思っているというところです。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>質問で聞き漏らしていたら、申し訳ございません。資料2-1の右側でビジネス</p>

	<p>プラン発表会の実施というところで1者辞退、2者参加で参加44名のところですが、者と名の使い分けをどうしているのかと来場された方がどのような方が参加されたのかを教えてください。今後の取り組みの参考になると思いますので、2点を教えてください。</p>
事務局	<p>者は会社名という意味合いで、名は人数が参加という意味でとらえていただければと思います。</p> <p>2者が参加で2事業者がビジネスプラン発表会に参加されました。</p> <p>その中で44名が参加されました。</p> <p>この44名ですが、この参加された2者の身内の方が多かったかなという印象です。</p> <p>あとは審査員の関係者の方々も来ていただいたというところが参加された方々です。</p> <p>もう一方、アクションプランのときにもご説明させていただきました、今年度、ビジネス交流スクールというのを開校しております、そこでもガバメントクラウドファンディングの発表会がありますというところを投げかけたところです。</p> <p>何名か来ていただいたというところの総数が44名というところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>去年は44名ではなく、もう少し参加されていたと思いますが、もっと参加があった気がします、思い当たる要因はありますか。</p>
事務局	<p>同じようなPR方法で実施させていただいたというところではありますが、残念ながら参加者数は減ったなというところでございます。</p> <p>昨年、発表する事業者が3者のところが2者というところで減ってしまったのかなと思っているところでございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員は一次審査に関わっていただいておりますが、何かコメントがあればいただきたいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>2年間一次審査に関わっていますが、エントリー数が少なめなのが残念だと思っています。周知できるところには、周知した上でだとは思いますが、何かもう少しそれを広げるようなことが出来ないのかなと思っています。</p>

	<p>十分可能性のある人も知った上で、この数字なのか、それともそもそもリーチ出来ていないのかでいうとまだリーチ出来ていないところがあるのではないかなという気もするので、うまくかみ合わせていけるのかわからないですが、ビジネスのスクールの100人ぐらいの参加者がおられるのかなと思います、そういう中にもいそうだなと考えています。</p> <p>次はどうなるのかわからないですが、参加しての方に強く案内すれば、もしかしてそこから、参加する人もいるのではないかなと、他にも何かこう関連するところにダイレクトに届けて行って、引っ張ってきてみたいなきことができる機会がないのかなとかというのは思うところです。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>今の委員の方のお話で委員の方々から、こんなことしたらいいんじゃないかと、何かお知恵があればご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私はブラッシュアップに関わらせていただきましたが、確かに去年は10者ある中から3者というところで、当日の参加者もその10者で上がらなかった7者の関係者の方もたくさん来られてたのかなと思います。</p> <p>8年度で3回目ってということで、興味のある方となると、だんだん参加する方が減っていくような感じがあって来年度どうなのかなというのは気になってるところです。</p> <p>ビジネス交流スクールでも、たくさんおられるんじゃないかというのもありますし、何かこの社会起業というのが、自分のビジネスとどう繋がっているかとか、社会起業って何なのか、これに申し込むことで、お金を集めること以外にどういうメリットがあるかとか、その辺を何か考えられてるかもしれないですが、事業周知というところで、単に事業自体の説明っていうだけではなくて、そもそもの社会起業の説明や対象者の説明をすることで、何かを掘り起こすような情報提供があってもいいのかなというのは、お聞きしてて思いました。</p> <p>参加された方にもお話を聞くと、はじめは、もっとお金が集まると思ってたようですし、お金がもちろん集まるにこしたことはないけれども、市のクラファンに選ばれるとか、そういうところに価値を感じてる方もおられるので、その辺をアピール出来たらいいのかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>市が絡むと何となく、自動的にクラファンが増えるかと思ったり、期待が大きいのかもしれないなと思います。</p> <p>他に皆さんいかがでしょうか。</p>
オブザ	<p>当日の発表を見た中では、社会起業家の支援といいながら、発表は事業の内容と</p>

<p>一バー</p>	<p>いうよりは理想を語っていらっしゃる感じで、もう少し事業の説明や、どういうブラッシュアップをしてそこに至ってどんな事業計画なのかということをもう少し聞ければうれしかったなとすごく思いました。</p> <p>全体のことがあまりわからなかったなので、そこはブラッシュアップしてビジネスプランとして、育成したというところが本当は聞ければよかったなというのは思ったところです。</p> <p>1年目も3者とも達成しなかったと思いますが、100万円という金額に対しては3者ともかなり達成率が悪かったと思います。</p> <p>委員がおっしゃるように、それ以外の面があって、地域内で繋がりが出来たとかで1年目の事業者が民泊の許可を取って、3月から始められるとか、社会起業家として支援したことによってこういう動きが起きているということの後追いまでして、このビジネスプランに応募したから、こういう動きがまちの中に起きているというところをもう少し丁寧に説明してもいいと思いました。</p> <p>「応募しました」、「発表しました」、「お金を集めています」で集まらなかったら終わりみたいに少し見えているので、そこはもう少し丁寧に洗い出されて、これに応募することの意義や市の支援をいただけることの意義っていうのが伝わったら、もっと応募が増えるのではないかなと思っていますので、ここを連携して何かできればなと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>確かに事業者の実際に動きがあるので、それを表現しないのはもったいないかもしれないですね。</p> <p>他に皆様いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>銀行は割とクラウドファンディングを企業同士のマッチングをするときに使ったりすることがあります。</p> <p>そのときにMAKUAKEを使いますが、MAKUAKEは、圧倒的に見る人が多いので、要はもちろん理念が大事ですが、まずは見てもらうことや知ってもらうことが一番大事になってきたときに、この取組をMAKUAKEに掲載するということは不可能でしょうか。</p> <p>詳しくないので、素朴な疑問です。</p> <p>ただ、MAKUAKEに掲載するとなると当然いろんなお金もかかるとは思いますが、これをクラウドファンディングでこういう取組をしていることを多くの人に知ってもらう、ものすごく面白いことをやっているのではないかという興味を持ってもらうという単純な発想です。</p> <p>そういった大きなものに掲載できるものであるなら、掲載してみると、もしかしたら、化学反応を起こさないかなという単純な質問です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

事務局	<p>私も詳しくはないですが、やっぱり費用対効果でそのコストパフォーマンスが高ければ、やってみる価値は当然あるだろうと思いますし、知っていただければどうしようもないというのは、まさにそのとおりで、今、委員からお話いただいたことも含めて、いろんなことの知見をまた我々や市役所の方で調べていただいて、何ができるかどうかを取捨選択していくということかなと思うので、また委員にもいろんなご意見をいただければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>事務局からはいかがですか。</p> <p>今後の展望とさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、ガバメントクラウドファンディングを2年間、実施させていただいたところで一定の課題等は、皆様と同じような形で思いで課題だと思っているところがございます。</p> <p>まず、良い点だということところは、ブラッシュアップを通じて事業者のレベルアップに繋がっているということところが1つ感じているところがございます。</p> <p>まず、初年度に合った3事業者とも、それぞれ活躍されているということもありませんし、そこで強かったのが、いかにこの事業を見せるかということ、プレゼン指導というところでプレゼン発表会もさせていただいて何が良いポイントかということところを各事業者が理解してそのポイントをずっと伝えて、自分の事業の内容に生かしているなということところで、それぞれのプランが、何かしら芽が出てくるような状態になっているなということところは見えているところがございます。</p> <p>ただ、最終の資金の調達の結果があまりよくないなということが課題で、今年度も正直まだ苦戦をしているような状況もあり、この資金集めのところもどういうふうに持っていければいいかということところで、今年度はビジネスプランの発表の見せ方を変えたということがございます。</p> <p>感性に訴えるというような形のプレゼンに変えたということところで、今年度の結果がどうなるかというのを見守っているところがございます。</p> <p>あとプランが今回は2年目ということところで、昨年度に比べると件数は減ってしまったということもありますので、もう少し参加する幅を広げて、プラン数をより多く集められないかなということところで考えております。</p> <p>市内よりも市外からも来ていただくということの発想もありますが、このガバメントクラウドファンディングに適した形でどうすればいいかということところを、地域課題は何かということところも踏まえて、チラシの見せ方のところも踏まえて、プラン数を集めていければなということところで、今、案を担当と練っているところでございます。</p> <p>本日いただきました、ご意見も参考にしながら次年度のガバメントクラウドファンディングの実施につなげて、よりよいものにしていければなと考えていると</p>
-----	---

<p>委員長</p>	<p>ころでございます。 以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。 今、委員の皆様からも様々な意見いただきまして、課題が幾つか整理出来てきたのではないかなという印象です。 その辺を市役所のほうで整理されて、次どうしていくかということを考える段階なのかなと思って聞いておりました。</p>
<p>委員</p>	<p>初歩的な質問です。 去年は確かビジネスプランのテーマが3つの中から選ぶ形式だったと思います。 来年度は対象者が書いていないですが、これは相変わらずあるのですか。 もう一つ、クラウドファンディングということはお金を集めようと思っているわけで、どこを見て、どう皆さんはそのお金は集めているのでしょうか。 12月24日に発表があったと思いますが、例えば市のホームページか何かでずっと続けているのですか。</p> <p>私たちがこれを見て、お金を寄附しようと思うときにどうすれば、力を注げるのかなという素朴なところの本当に初歩的な質問ですが、令和8年度のことを教えていただきたいなと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。 最初のところはテーマが今3つですけれども、来年も3つのテーマということですか。</p>
<p>委員</p>	<p>はいそうです。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、テーマですが、これはテーマを絞ったというところもありますが、ここはまたどうするかというところを今検討中です。 先ほど説明した通り、幅広くというところもありますので、その辺も踏まえて検討していこうと思っております。 特に去年設けていた、その他というところがなくなったのが、何かしら制限かかってしまったのかなというところもあります。 子どもというテーマは、市の総合計画で外せないですが、そのほかも含めてどういったものかいいかというところを踏まえて、テーマを設けるかというところも踏まえて検討していければなと思っております。</p>

	<p>納税の仕方ですけれども、ふるさと納税の専用サイトのふるさとチョイスを使っておりまして、そこで寄付はできるような仕組みになっております。</p> <p>市のホームページでも、ビジネスプランの実際事業者が発表されたムービーを取っておりまして、どんな内容だったかという公表の上で、そのふるさとチョイスのページにリンクを張って飛べるような形でして、PRをしているところでございます。</p> <p>インターネットなので一応全国にはこれで周知はできるかなというところで今PRを行っているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ブラッシュアップのところで、さっき事務局がおっしゃったように、ブラッシュアップすることによって、事業者の方が非常に頭がクリアになって、自分は本当にこういうことをやりたかったんだということを明確におっしゃるようになったということが感じられて非常によかったと思いますが、一方で、2者だけだともったいないなとか、結局は底辺を増やしていくということになると思います。</p> <p>私はあの制度が非常にいいと思うので、ぜひ、どんどんボトムを増やして、そういうことを支援できるような形になるといいなと思っています。</p> <p>最後にまた全体で質問を確認したいと思いますので、そろそろ次の議題にいきたいと思います。</p> <p>事務局から今の議題についていかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>このガバメントクラウドファンディングを活用した社会起業家支援事業について、先ほどから課長が申し上げております、ビジネス交流スクール、ローカルビジネスハブかわにしというような展開をさせていただいていますが、市長のマニフェストで課員が何回もたたきながら、市長と協議して作り上げたというところでございまして、まだまだ改良できるだろうなと思っています。</p> <p>加えて言えば、同じやり方は大体3年ぐらいでいいかなと思います。</p> <p>次はもう少し新しいやり方をしてもいいのかなと思いつつ、特にビジネスに関わる部分というのは常に新しいものを取り入れていったりとか、変わっていかねばいけないんだろうなと思っているので、市役所が苦手な部分ではありますが、色々なご意見をいただきながら、さらにいいものに出来たらというように感じております。</p> <p>まだ令和8年度の事業は具体的には決まっていないものなので、テーマをこうしたらいいのではないかという話があれば、またご意見していただければ、反映できるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>市の思いもあるので、その大きな思いがあるテーマは出しておいて、その他ぐら</p>

	<p>いが良いような気がしますけども、またご検討いただければと思います。</p> <p>そうしましたら、ここまでにしまして、最後の議題に移らせていただきたいと思います。</p> <p>議事・報告（３） 部会の設置について</p>
委員長	最後の議題につきましては、部会の設置という議題でございます。この点につきまして事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<資料２－２について説明>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>昨年と同じということですね。</p> <p>部会の設置について、ご質問ありますでしょうか。</p>
オブザーバー	<p>資料２－１で見ると、産業ビジョン推進委員会の起業支援部会というのは、２名になっていますが、今この提案はこの２名でいいですかということを承認する意味ですか。</p> <p>部会を設置して誰を選任するかはまた違うという意味ですか。</p>
委員長	<p>これは審査員です。２名はビジネスプランの審査員として入るという形ですか。２－２の５の話ですか。</p> <p>今回の会議でどこまで承認するかという質問だと理解しました。</p>
事務局	<p>令和７年度と同様の内容で令和８年度も進めていくという形で、ご審議いただければというところでございます。</p> <p>所属等は個々にご依頼するという形になりますので、人物は出さずにこういう形でさせていただいているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
委員	そうすると、審査員の方々はこれから決めるという段階でまだ決まっていないという状況ですね。
委員長	<p>或いは名前は出せないけれども、昨年度と一緒になるという話なのか。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
事務局	名前は出せないけども昨年度と同様の内容にて進めさせていただくというところでございます。

オブザーバー	部会員は委員ではなくて良いのか。
オブザーバー	Nさんの位置付けはどうか。 産業ビジョン推進委員なのか。
事務局	N先生は1次審査は受けて、2次審査は辞退という形になっております。
事務局	ちなみに推進委員が部会員になるということではありませんので、要するに委員長が推薦する方というような形になっていたかと思えます。 例えば、専門性に応じて、この方はどうだろうみたいなことをお話しさせていただいて、例えば今回の中小企業振興条例の部会もこの委員のメンバーからも入っていただいていますし、それ以外の方も入っていただいているというような形になってございます。
委員	つまり、起業支援部会は審査員ではないということですか。 審査員は別にこのメンバーですというのがあるのでしょうか。
事務局	例えばこういう審査をするということは、附属機関が行うという形になるということなので、産業ビジョン推進委員会の下に部会をつけて、その部会において審査をするという形になっているということです。 そういう形なので、任命であるとかそういったところはこの産業ビジョン推進委員会のほうとある程度ご相談させていただきながら進めていくという形にはなろうかと思っています。
委員長	今日の委員名簿を見てTさんは委員になっているので、この推進委員会の推進委員に入ってる。 Nさんはどこにもないから、どこに入るのかなということで、ここには入っていないNさんがどう扱われるのか。
事務局	その整理ですが、推進委員会の部会員というところで、一旦、委員のメンバーに入りつつ、部会員だという位置付けも、内容で任命するという形で例年実施しているところがございます。 部会員も委員に入った中での部会員という形になりますので、商工会会長も同じような位置付けでさせていただいているところがございます。
事務局	川西市産業ビジョン推進委員会規則というものがございまして、その中に部会

	<p>の定めがございます。</p> <p>部会の中で、第8条、委員長は、必要があると認めるときは、推進委員会に部会を置くことができるとしております。</p> <p>で、部会は、部会長及び部会員10人以内で組織し、市長が委嘱するという事で市長が委嘱する。</p> <p>附属機関的な扱いになるということでございます。</p> <p>部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから委員長が指名するという事で部会長については委員になるということでございます。</p>
委員長	<p>Nさんをどこで読むかっていうところが少しわかりにくいので、どこかで位置づけるほうがわかりやすいかなと思います。</p> <p>課題は共有が出来たということであれば、あとは市役所に整理していただくということでよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>整理させていただいて、また次回にでもご報告させていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にはないですか。</p> <p>全体で何かありますか。</p> <p>議事はこれで終了したかと思えます。</p> <p>議事録は、事務局で作成していただいたものを委員長が確認し承認するという形になると思います。</p> <p>では、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>4、閉会</p> <p>委員長会議の進行ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、たくさんのご議論をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>本日は長時間に渡りご議論いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第3回産業ビジョン推進委員会を閉会とさせていただきます。</p> <p>オンラインでご参加の委員のみなさまありがとうございました。</p> <p>ZOOMのミーティングからご退出をお願いいたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>